

～自転車の安全・安心な環境づくりに向けて～

区独自の路面標示の 実証実験を行います

杉並区では21日から、自動車の運転者に対して自転車に優しい運転を促すため、区独自の路面標示を設置する実証実験を、東海大学との協働により実施しています。

杉並区では近年、区内で発生した交通事故全体に占める自転車関与事故は5割程度で推移しており、自転車関与事故の減少は喫緊の課題となっています。

今回の路面標示は、区独自にデザインした法定外のもので、区道上に設置し、自動車が自転車の横を通る際に、十分な間隔を空けることや安全な速度で進行するよう促すものです。路面標示設置前後の自動車と自転車との間隔や速度の変化を、レーザーを用いた観測機器で記録し、得られたデータを東海大学が分析して効果を検証します。

実証実験の結果は今後の本格設置に向けた検討に生かすとともに、自転車利用者に加えて、歩行者にとっても安心して移動できるまちづくりにつなげてまいります。

実 験 概 要

<設置場所・実験期間>

杉並区南荻窪2丁目2番先（神明通り）10月21日（火）～22日（水）

杉並区和泉3丁目53番先（永福町駅北口商店街通り）10月23日（木）～24日（金）

<路面標示寸法>

縦240cm×横160cm

<測定方法>

区が管理するカーブミラーや街路灯にレーザーを用いた観測機器（L i D A R）を設置し、自動車や自転車の走行状況を記録する。



【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部管理課：03-3312-2111 内線3571

広報課報道係：03-3312-2111 内線1574